

令和3年度 部活動 活動結果

春季総合体育大会の結果（文化部は大会の結果）をお知らせします。

運動部

陸上競技部

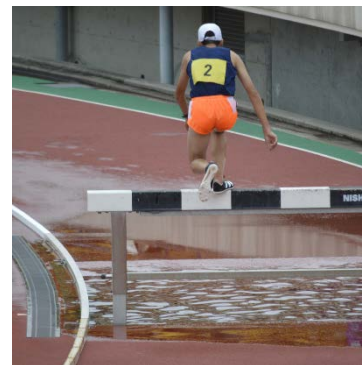
結果

- ◎男 200m 壹岐 元太（3年）第2位
 - ◎男円盤投 谷口 知弘（3年）第2位
 - ◎女走幅跳 吉田 萌杏（2年）第3位
 - ◎女三段跳 吉田 萌杏（2年）第3位
 - ◎女円盤投 野田 彩名（3年）第4位
 - ◎男 3000mSC 風口 奏楽（2年）第4位
 - ◎男走幅跳 幸田 稔也（3年）第5位
 - ◎女走高跳 内田 佳苗（2年）第5位
 - ◎男 4×400mR 内堀③-田中③-糸数③-壹岐③ 第3位
 - ◎女 4×400mR 福林②-吉田②-奥村③-高井② 第6位
- 以上10種目、18名（リレー補欠含）が近畿高校総合体育大会に進出しました。



近畿高校総合体育大会（6月17日～20日：神戸ユニバー記念陸上競技場）

- ◎男 200m 壹岐 元太（3年）準決勝敗退
- ◎男円盤投 谷口 知弘（3年）決勝16位
- ◎女走幅跳 吉田 萌杏（2年）予選敗退
- ◎女三段跳 吉田 萌杏（2年）決勝19位
- ◎女円盤投 野田 彩名（3年）決勝16位
- ◎男 3000mSC 風口 奏楽（2年）予選敗退
- ◎男走幅跳 幸田 稔也（3年）予選敗退
- ◎女走高跳 内田 佳苗（2年）予選敗退
- ◎男 4×400mR 内堀③-田中③-糸数③-壹岐③ 決勝7位
- ◎女 4×400mR 福林②-吉田②-奥村③-高井② 予選敗退



講評

滋賀県春季総体では、急なケガなどのアクシデントがあり、満足のいく結果で終わることができなかった。

決勝で6位までが全国インターハイへの出場権を得られる近畿大会では、男4×400mRで決勝に進出したものの7位という悔しい結果に終わった。
(顧問より)



バドミントン部

結果

個人戦：男女とも初回戦敗退

団体戦：男子のみのエントリー 東大津 4-1

初回戦敗退



講評

個人戦は、3年間の練習の集大成となる試合で、それぞれが固くなることなく熱戦を繰り広げてくれた。特に女子は団体戦にエントリーしていないため、引退試合となった。他校のエース級との試合でも、決して小さくならず、自分のリズムから有効打を数多く打つことができた。ただの勝ち負けを超えた感動的な試合となった。

団体戦は、県内の有力校との対戦となった。2年生ペアのダブルスが、かつてないほどの気合で相手のリズムを崩す場面があり、試合は敗北したもの、流れは石部高校にくることがあった。その後3年生ペアのダブルスが見事相手のダブルスを撃破した。シングルスは勝ちまであと一步のところだった。試合は負けたものの、試合後、他校の監督にも声をかけていただけるほど、白熱した試合をすることができた。(顧問より)

卓球部

結果

団体戦（学校対抗戦）

石部 0-3 八幡商業 敗退 2回戦敗退

シングルス

ダブルス

田原正徳 2回戦敗退

田原・三浦 3回戦敗退

上田悠月 2回戦敗退

上田・高見 3回戦敗退

高見将矢 2回戦敗退

森嶋・山本 2回戦敗退

近藤敬生 1回戦敗退

三浦巨雄 2回戦敗退

森嶋快斗 3回戦敗退

山本智尋 1回戦敗退



講評

団体戦は全体的に十分に力を発揮することができなかった。勝機はある試合だったので、今後に期待したい。選手同士で真剣にコミュニケーションを取ることで、劣勢を跳ね返す場面があり、強い精神力が発揮された。何より、チームメートの試合を積極的に応援する姿を見ることができた。悔しい思いをした部員も多いので、夏の大会にその思いをぶつけて欲しい。

(顧問より)

バスケットボール部 男子

結果 1回戦敗退

石部		八幡
46	$\left[\begin{array}{cc} 17 & - & 32 \\ 5 & - & 30 \\ 12 & - & 18 \\ 12 & - & 14 \end{array} \right]$	94



講評

試合序盤から相手のオフェンスに対応できず、苦しい展開となった。春季総体を迎えるにあたって、課題としてきたボールマンのディフェンスとリバウンドがこの試合の中でも徹底できず、そこを相手につけこまれる形で点数が開く展開となってしまった。3選手がファールアウトで退場する中、戦う姿勢が最後まで見られたことは収穫であった。

(顧問より)

バスケットボール部 女子

結果 2回戦

石部		水口
51	$\left[\begin{array}{cc} 11 & - & 17 \\ 16 & - & 7 \\ 8 & - & 30 \\ 16 & - & 9 \end{array} \right]$	63



講評

第1Qは両チームとも堅さがみられ中盤まではロースコアの展開であった。第2Qは石部の攻撃パターンが機能し、また相手チームの不用意なファールにも助けられゲームの主導権を握る。ハーフタイム後の第3Qは、集中力がきれたところを猛反撃され、大きく差をつけられてしまった。第4Qは、落ち着きを取り戻し再び主導権を握るも、第3Qの失点が致命傷となり敗戦を喫した。試合全般的に体格差ほどインサイドは支配されてなく、むしろ石部の攻撃が勝っていたが、フリースローや3Pシュートの精度で差がついてしまった。

(顧問より)

バレーボール部 女子

結果	1 回戦		2 回戦
	石部・信楽合同	綾羽	石部・信楽合同 湖南農業
	0	2	0 2
	$\left[\begin{array}{cc} 13 & - & 25 \\ 10 & - & 25 \end{array} \right]$		$\left[\begin{array}{cc} 22 & - & 25 \\ 20 & - & 25 \end{array} \right]$

講評

1 回戦は強豪綾羽高校との一戦で、相手チームの強烈なスパイクで終始押されていたが、その中でも粘り強いレシーブと繋ぎが光った。2 回戦は 2 日目へと繋がる負けられない一戦で、序盤は互いに点の取り合いで始まり、リードをする場面もあったが、こちらのミスで逆転を許し敗退した。前回の大会から、サーブ、スパイクなど攻撃面に関しては大きな成長がみられたが、こちらの強みであるレシーブと繋ぎに関しては、実力を発揮することができなかった。

今大会の悔しさから学んだことを、次回の秋の大会に向けて自主性をもって練習に取り組んでもらいたい。(顧問より)



テニス部 男子

結果

男子シングルス予選

石崎 翔吾	2 回戦	対 栗東	5-7	敗退
小川 慎介	2 回戦	対 能登川	6-3	勝利
	予選決勝	対 立命館守山	1-6	敗退
桂 優斗	1 回戦	対 栗東	6-0	勝利
	2 回戦	対 彦根工業	6-2	勝利
	予選決勝	対 立命館守山	5-7	敗退
三大寺 隆空	1 回戦	対 八日市南	7-5	勝利
	2 回戦	対 立命館守山	7-5	勝利
	予選決勝	対 玉川	6-3	勝利
	本選 1 回戦	対 近江兄弟社	4-6	敗退
森 寛斗	2 回戦	対 近江	6-1	勝利
	予選決勝	対 光泉カトリック	3-6	敗退



男子ダブルス予選

石崎・森	1 回戦	対 膳所	3-6	敗退
桂・三大寺	2 回戦	対 近江兄弟社	6-2	勝利
	予選決勝	対 長浜北星	6-3	勝利
	本選 1 回戦	対 栗東	6-4	勝利
	本選 2 回戦	対 東大津	0-6	敗退

ベスト 16 入り

団体戦

1 回戦 対 伊吹 3-0 勝利

2 回戦 対 東大津 0-3 敗退

講評

多くの選手がこの大会で本選に出場することを目標にこれまで努力してきた。その成果を皆が出せたと感じるプレーが様々な場面でみられた。まずは自分がこれまでの練習で培ってきたものをしっかり発揮しつつ、それを相手のどこにぶつければ試合を有利に進められるのか、考えながらプレーをしていたところに成長を感じられた。残念ながら全員が予選突破することは叶わなかったが、シングルス・ダブルスともに1本ずつ本選出場し、ダブルスはベスト16入りを果たすことができた。部員全員で切磋琢磨しあい、皆で手にした成果だと強く思う。

良くも悪くも、普段の練習のプレーが試合でも出ていたと感じた。今後に向け、サーブやリターン、種々のストロークやボレーなど、課題は山積みである。限られた時間の中で何に重点を置き、日々の練習に取り組むか、部員全員で意思決定、共有を行い、次の大会に臨む。(顧問より)

テニス部 女子

結果

女子シングルス1回戦

林 綾音 1回戦 対 守山 4-6 敗退

講評

3-2とゲーム数をリードしていた試合展開であったが、3-4と相手に逆転を許す。このまま相手に流れがいくかというところではあったが、その後もラリーを丁寧につなぎ、深いロブやショートボールをうまく使い相手を動かし、4-4に追いつく粘りを見せる。

3年生同士の対戦のため互いに勝ちたい気持ちが前面に出ていたが、最終的には悔しい結果となった。女子部員1人の中で一生懸命に練習していた成果を出そう、と最後まで諦めずに戦い抜く姿勢が印象的であった。(顧問より)

硬式野球部

令和3年度 春季近畿地区高等学校野球滋賀県大会

結果 対 玉川高校 9-0 (7回コールド負け)

講評

湖南農業・石部・信楽・甲南の4校連合で臨んだ春季大会。先発の古賀(2-1)は立ち上がりに連打で1点を先制されると、3回にも2本の長打などで3点を失い、序盤に主導権を握られる苦しい立ち上がりとなった。続く4回にも1点を加えられ0-5とされるとその裏の攻撃、1死から茂田(2-3)、廣岡(3-3)など、3連打で1死満塁の絶好機をつくる。ここで打者は村山(2-3)、ファウルで粘り、フルカウントから振り抜いた打球は三塁手正面を突き得点ならず。この回を無得点で終わる。すると、6回から登板した多川(3-3)も流れを止められず、悔しいコールド負けとなった。

この大会を最後に石部高校は単独チームとなり、8年ぶりに石部高校としての大会出場となる。

(顧問より)

文化 部

吹奏楽部

第 59 回滋賀県吹奏楽祭

結果

例年であれば近畿高等学校総合文化祭出場校の選考があるが、今年度は近畿総文が滋賀県開催なので何もなし。

講評

新型コロナウイルス感染対策のため、演奏時間 5 分・前後の団体との時差 5 分ずつのタイムテーブル、無観客・椅子及び打楽器配置固定・舞台入場前に全員手指消毒を行うことを徹底しながら開催された。

本校の出演順は後ろから 2 番目と遅かったが、それぞれが上手くピークを本番に合わせる事ができた。曲目はマイケル・ブラウン編曲の「ディズニーランド 50 周年セレブレーション」。前後はそれぞれ 50 名を超える大編成の学校であったが、決して聞き劣りしない好演であったと思う。

(顧問より)

放送部

第 68 回 NHK 杯 全国放送コンテスト 滋賀県大会

結果

アナウンス部門に出場 17 位

講評

15 位までが決勝に残れるので、もう少しというところであった。

安定したアナウンス力があるため、発声練習など練習を積み重ねていけば今後の活躍が期待できる。

(顧問より)